

競技注意事項（案）

1. 競技規則について

本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項に従って実施する。

2. 招集について

- (1) 第1次招集は、競技者係にて行う。選手本人がユニフォームを着用した状態で集まり、胸・腰ナンバーカード、スパイクの確認後、自分のレーン番号に丸を付けて、第1次招集を完了とする。
- (2) リレー競技の第1次招集は、出走者4名全員が受けること。
- (3) 同一時間に2種目以上出場する競技者、および競技中のため他の種目の第1次招集を受けられない競技者は、第1次招集終了時刻までに重複出場届を競技者係に提出すること。
- (4) 重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が第1次招集を受けなければならない。その際、重複出場届の控えを持参すること。
- (5) 第1次招集は、競技者係にて下記の通り行う。なお、女子棒高跳の第1次招集は、現地にて行う。

種 目	招 集 開 始 時 刻	招 集 終 了 時 刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
跳躍種目(棒高跳以外)	競技開始60分前	競技開始50分前
投 擲 種 目	競技開始50分前	競技開始40分前
棒 高 跳	競技開始90分前	競技開始80分前

- (6) リレーオーダー用紙は、第1次招集終了時刻の60分前までに競技者係へ提出すること。リレーオーダー用紙を提出しなかった場合、そのチームは欠場とみなす。（「3.欠場について」参照）
- (7) リレーチームの編成は、必ず当該リレーチームでエントリーしている者が2名以上含まれていなければならない。（競技規則第170条10項）なお、本大会は「2019 関西学生新人陸上競技選手権大会」と「2019 ディムライトリレーズ」の併催という形をとっているが、この2大会は同一大会とみなし、新人戦にエントリーしている選手もディムライトリレーズに出場できる。
- (8) リレーオーダー用紙提出後の選手変更は、本大会の医師、医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければチームは失格となる。（競技規則第170条11項）
- (9) リレーオーダー用紙・重複出場届・当日欠場届は受付および競技者係にて配布する。

3. 欠場について

- (1) 事前に欠場者が判明している場合は、8月26日（月）15時までに事前欠場者届を関西学連事務所までメールにて提出すること。
- (2) 当日欠場は原則として認めない。ただし、やむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日に当日欠場届を大会本部の総務に提出して承認を得ることで欠場が認められる場合がある。この場合、総務より当日欠場届の下半分を受け取り、当該種目の第1次招集終了時刻までに競技者係に提出すること。

- (3) 当日欠場届には、代表者および本人のサインを記入すること。
- (4) リレー競技の当日欠場についても上記の手続きを満たし、第1次招集終了時刻の60分前（リレーオーダー用紙提出締切時刻）までに当日欠場届を提出すること。

4. 競技者の服装について

- (1) 同一大学は、事前に学連に提出した同一のデザインのユニフォームを着用すること。これはリレー競技に限らず、すべての種目について適用する。提出したものと異なる形状のユニフォーム（トップスとショーツなど）を使用する場合も、色・デザインを統一させること。
- (2) ナンバーカードは2019年度関西学生陸上競技連盟登録のナンバーカードを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせずに明瞭につけること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部の一方だけでよい。
- (3) 全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。腰ナンバーカードは第1次招集時に競技者係にて配付する。腰ナンバーカードは競技終了後ゴール地点で返却すること。途中棄権などで競技を中止した場合も返却すること。
- (4) 5000mに関しては、第1次招集時に受け取った腰ナンバーカードと番号を合わせた長距離専用別ナンバーカードを使用すること。
- (5) 使用するスパイクのピンの長さはトラック・フィールド共に9mm以下とする。ただし、走高跳およびやり投については12mm以下とする。（競技規則第143条4項）

5. 競技用器具について

- (1) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。ただし個人所有のやり及び砲丸の使用を希望する場合は、競技開始の90分前から60分前に検査を受けて許可を受けなければ、使用することができない。検査はヤンマーフィールド長居100mゴール側用器具庫で行う。ただし、検査時間が開門以前となる場合には、正面玄関にて検査を行う。
- (2) 棒高跳用ポールは各自で持ち込んだものを使用すること。

6. トラック競技について

- (1) 計時について、トラック競技の計時は写真判定（0.01秒）とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時（0.1秒）とする。
- (2) 800mにおいては、競技運営の都合上1組9名を超えて競技を行うことがある。その場合、9・8・7レーンの順に2人ずつ選手が入る。
- (3) 5000mに関しては、制限時間を設ける。各レーススタート後、男子18分、女子21分の経過時点で、残り1周に達しなかった競技者は、その週のフィニッシュラインで競技を中止させる。
- (4) 5000mでは、気象状況により給水を行う場合がある。

7. フィールド競技について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

種目	種別	ピット	試技開始	備考
走高跳	男子	A/Bピット	1m80	2m00 まで 5cm 刻み、以降 3cm 刻み
	女子	A/Bピット	1m45	1m65 まで 5cm 刻み、1m69 以降 3 cm刻み
棒高跳	男子	Aピット	4m40	5m00 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
		Bピット	3m80	
	女子	Aピット	3m00	3m60 まで 20cm 刻み、以降 10cm 刻み
		Bピット	2m40	

- (2) 走高跳・棒高跳の練習の高さは当日、選手と審判員の協議により設定する。また、悪天候などの不測の事態が発生した場合は、総務・審判長・ヘッドコーチの協議により設定の高さを変更し競技を行う場合がある。
- (3) 競技者が1人となった場合のバーの上げ方は、本人の希望により決める。ただし、2つのピットに分かれている場合は、両ピットを通じて1人になった場合に限る。
- (4) 三段跳の踏切板の位置は、男子はAピット13m、Bピット12m、女子は9mもしくは10mの選択制とする。
- (5) 棒高跳の公式練習を行う際はゴムバーを使用する。
- (6) 投擲種目はペグ計測とする。また、公式練習は2回までとする。ただし、ハンマー投は1回とする。
- (7) 現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことができる。しかし、審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・ヘッドコーチ等で協議し対処する。(競技規則第144条2項)

8. 抗議の申し立てについて

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表(アナウンス)されてから、30分以内に、その競技者あるいはチームの監督が口頭で審判長に申し出なくてはならない。(競技規則第146条2項、3項)
- (2) 審判長の裁定に不服な場合は文章と委託金1万円を添えて上告する。(競技規則第146条7項)

9. 競技場の使用について

- (1) 開門予定時刻は両日とも午前8時30分、閉門時刻は両日競技終了30分後とする。
- (2) 横断幕・のぼり・テントなどはテープ類を使用せず紐等で固定し、全日とも競技終了後は速やかに撤去すること。
- (3) 屋内(招集場所)・更衣室内に荷物やシート類を置いての場所取りは禁止とする。
- (4) ポール・やりの事前輸送は認めない。輸送に関しては、各団体の責任で行うこと。なお、郵送をする場合は下記の宛先、期日の指定時刻以内に設定すること。下記以外の期日・時刻に輸送することは禁止とする。また、受取の際には各大学代表者1名が立ち会うようにすること。

〔宛先〕 〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-1 ヤンマーフィールド長居

「2019 関西学生新人陸上競技選手権大会」

〔期日〕 2019年8月27日（火）10時00分～16時00分

※保管場所は競技場正面玄関付近とする。ただし、保管中に破損などがあつたとしても、主催者は一切責任を負わない。また、大学名を記入すること。

ポール・やりの返送に関しても各大学の責任で行うこととする。ポール・やりを保管場所に置いている大学は8月27日（火）17：30までに受け取りに来ること。

- (5) ごみは各自で持ち帰ること。
- (6) 大会運営に支障の出る応援が行われている場合には、応援を制限することがある。その際には現地の指示に速やかに対応すること。
- (7) メインスタンドでの集団応援及びテントの設置は終日禁止とする。

10. 表彰について

- (1) 各種目1位から3位までに入賞した競技者は、正式結果発表の30分後以降にエントランスまで賞状を取りに来ること。

11. 韓国選抜チームの出場について

- (1) 今大会では、韓国選抜チームが男子4×100mRに出場する。
- (2) 選抜チームは予選から出場し、決勝に進出する場合は、関西学連加盟校8チームと選抜チーム1チームの計9チームで実施する。

12. その他

- (1) 参加校は学生審判および学生補助員の派遣要請に基づき、定められた数の学生審判および学生補助員を派遣すること。
- (2) 悪天候等により競技の続行が難しい場合、総務・審判長などの協議によって、大会を中止する場合がある。
- (3) 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判・補助員も同様とする。
- (4) 競技者は競技区域内にビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。（競技規則第144条3項）
- (5) 荷物の管理は各自で行うこと。紛失、盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- (6) 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の以降の競技を中止させ処罰を与える。
- (7) 競技場器具を破損した場合、当該競技者の所属大学より必要代金を徴収する場合がある。
- (8) 競技者の大会本部前の通行は禁止する。
- (9) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。

関西学生陸上競技連盟